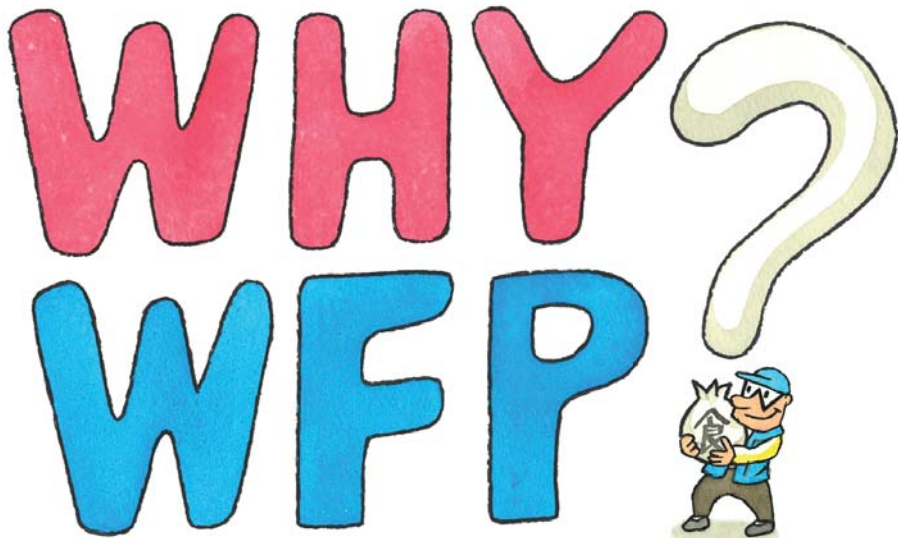


どうして？ 国連WFP



イラスト：Ryo Honda



## ○ 地球の果てまで

地球上に暮らす人の9人に1人。

約8億人の人が飢餓に苦しんでいます。

紛争による飢餓、貧困による飢餓、自然災害による飢餓……

飢餓の緊急事態が起こると、

どこよりも早く食べ物を届けるのが国連WFPです。

国連WFPは、世界80カ国で約8000万人の人たちに

食料を届ける世界最大の食料支援機関です。



## ○届ける情熱

災害が起きた時、真っ先に必要となるのは食料と水です。

特別な輸送手段を使える国連WFPは、

素早く食料を届けることができます。

飛行機、ヘリコプター、船、トラック、4輪駆動車、

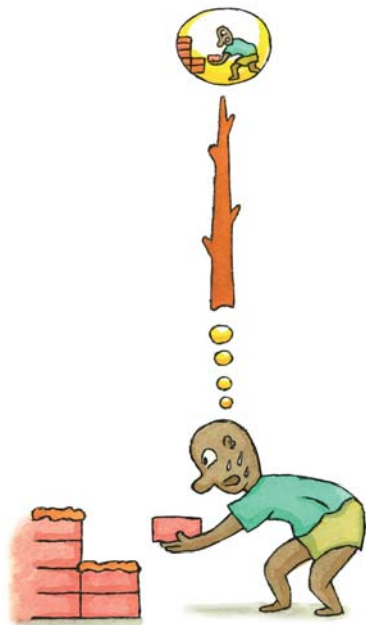
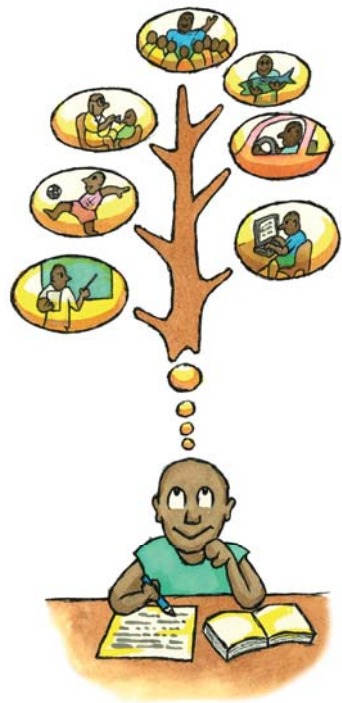
そして時にはロバに至るまで、あらゆる輸送手段を使って

48時間以内に困っている人たちに届けるように努めています。



## ○ みんな、お土産付き

国連WFPは学校給食プログラムを推進しています。  
「食べ物」と「教育」をワンセットにして、  
給食を食べに来た子どもが栄養だけでなく知識も  
必ず身に付く仕組みを作っています。  
2015年には62000校の学校で1740万人の  
子どもたちに「食べ物」と「知識」を届けてきました。



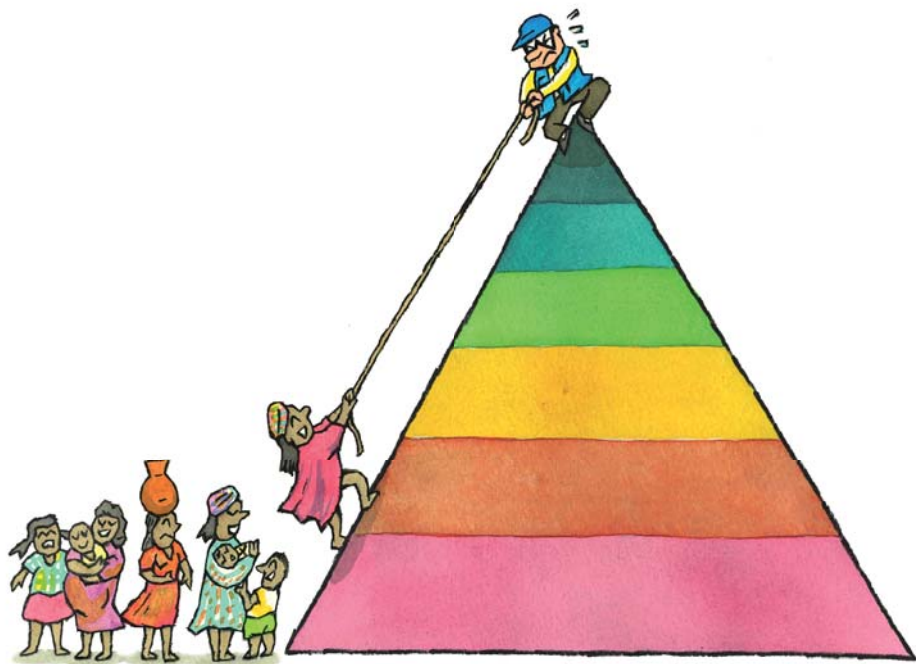
## ○ 明日の夢の木

勉強したことのある子どもとそうでない子どもの間には、  
大きな差が出てしまいます。

勉強をした子どもの未来には、たくさんの可能性が広がります。  
しかし、小さい頃から労働ばかりしていた子どもは夢を描けず  
一生貧しさから抜け出せない人生になってしまいがちです。

子どもたちの夢を広げることは、  
その国を豊かにすることにつながります。





## ○ もっと上へ

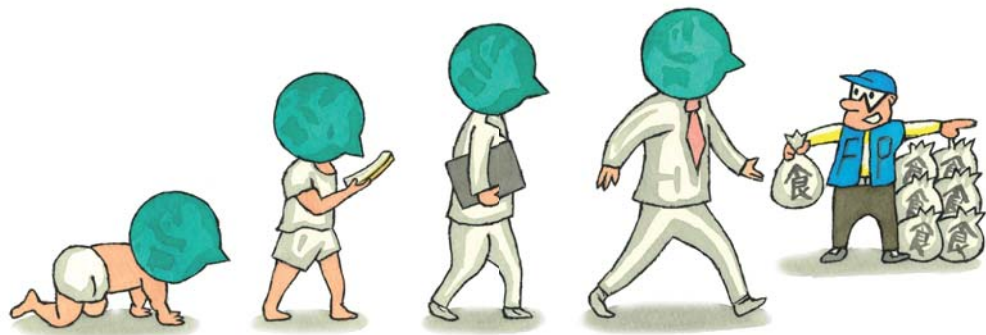
世界には女性の人権が軽視されている国があります。女性の役割は子どもを育て家事をすることだけだと考えている国もあります。

国連WFPの学校給食プログラムは、そんな女性たちにも教育の機会を広げています。考える女性が増えることは、バランスのいい社会をつくり人口爆発を自然に抑制することにもつながります。



## ○ 一緒につくろう

国連WFPは、地元の人たちと話し合い  
途上国のインフラ作りに取り組んでいます。  
村の道路をつくる。橋をつくる。灌漑施設をつくる。  
インフラづくりの交換条件として、村人たちには食料を配っています。  
国連WFPのサポートが終わった後で、  
そのインフラは、村人たちが豊かに暮らし  
村が発展するための財産となります。



## ○一人歩き

世界が平和になるためには、  
すべての国が自立して歩いて行けるようになることが重要です。  
国連WFPは食料を通して、困っている人たちを助け、  
教育レベルを上げ、貧しい国のインフラを整備し、  
社会の仕組みをつくっています。  
食料は豊かな社会のベースをつくるための有効な道具。  
武器ではなく食料を通して、平和な地球を実現する。  
それが国連WFPの考え方です。





World Food  
Programme

食糧をつかって地球の豊かな未来を計画しよう!



あなたの力を国連WFPに貸してください。

tel.0120-496-819 (9:00~18:00) [www.wfp.org/jp](http://www.wfp.org/jp)